



雅言通載抄結
四

服部文庫
117
447
4



117
447
4

雅言通載抄下卷

脚結部

○安

あり 在記紀 有同上

あひ 間記紀 際紀一

あれの 賣迹志阿礼婆記上 知杼理迹阿良米同上

あゝむ 那杼理尔阿良牟記上 亦有同上

あぢぢ 異佐誤阿礼椰紀ウ 俱伊播阿羅珥茹同上

あせ 御身不敢賜有礼続十七 礼今本良ニ作ルハ十四ウ

雅言通載抄下卷之目

結

一

ありけり 多布斗久阿理祁理記上テアリケリトダスハ

ありき 倭柯俱阿利岐騰紀廿六四ウ

ありき 有那理記上ハ祁ノ誤トシ

ありき 勅天在久統廿七一ノオ

ありき 邊傍記阿多理月下五オ

ありき 非記不在統四三オ

ありき 非記非記安利令利三代四十六二ノウ

ありき 雖在統廿七阿礼止毛統廿七五オ

ありき 阿流已止不得統廿五一八オ

あきと 都祢乃母阿礼等仏足

あきと 古曾阿女礼江談一

あきと 猶阿蕪婆勢記中四七オ

あきと 有倍加利三代四十六二ノウ

○ 伊

い 愷那能倭俱吾伊紀十七十七ウ

い 治賜伊自統十七ノ十八ウ詔詞解ニ委ク叙セリ

出雲國正六位上智伊神斐伊神

三代十五
十五才

按今紀ノ国津ノ国ナト去テ紀伊ト去ヲ笑ハ却テ非ナルヘシ
但伊ヲ上声ニ唱テキイトナカク去心ニ去ナルヘシ

いや 右毛万久良以也神薦枕

○ 宇

内。中記紀伊麻紀能禹知播紀廿六

右末津加宇礼尔東駿

○ 衣

見炙記上所燒紀一 佐加衣牟我門

穴門直踐立紀八 按アタヒヲ約テアトイヒアテヲ約テニト去
ナリサレハアタヒト去モエト去モ同シアタヒニ誤

韓白水郎紀十五 按アハネノ約ニテハ夕縮ト

弥若敷式八

○ 於

於

以下

紀廿九 按引ノ假字ヲ誤タルカト思ヘトカノ意ニテハ
通ゼズ落ノ意ニヤ可考

於

於天下政置而

純十 置古本宜ニ誤リ於ヲニトヨミテ
別ニ置而トカキタリ於ノ心ニ

於

川木乃於毛

風小車
月面

河面

和十五

於

室飲郡

式九

球磨贈於

肥風

○ 加

加

多智賀表

記上

宇加比賀登母

日上

加

那久那留登理加

記上

加

處所

已上
諸書

御舍

紀上

殿

式八

加

族

記 儻 紀十七
十三オ

衆類

日十
八ウ

伴

遊

波良加良

統世一
七ウ

徒衆 養旗

日
四ウ

加

思金神

記 賀泥

日下
兼ニ

加

男莖形

古
拾

櫛形 儀六
礼服

加

方

諸書

烏智箇多能

紀九
十オ

太子御方者

記中
四九ウ

かも 乎カモ記記哉記加母カモ記記伽茂カモ所所々々

かき 生之シ欵カキ紀紀ニニ按按カカ六六誤誤オオカカ那那上上加加名名催催夏夏引引

かきや 加毛也カモ催催藤生野フジノ

かきし 宇津呂比賀多之ウツロヒガタノ神カミ前前張張

かき 踏登フミノボリ行イ呂許志ロコシ記記上上按按カカシシ音音通通ナナリリ

かり 吳公多在ウカデオホカ記記上上廿廿八八オオ

かりり 多布止可理家利タフトシカリケ仏ブツ

かむ 延表斯麻加牟エンペスマカム記記中中九九オオ

かきり 限カキリ記記紀紀純男オトコノカミ紀紀ニニ

かぬる 難カヌル記記紀紀加加泥ネ氏シ記記上上九九オオ

かきり 限カキリ記記紀紀純男オトコノカミ紀紀ニニ

かきり 限カキリ記記紀紀純男オトコノカミ紀紀ニニ

かきり 限カキリ記記紀紀純男オトコノカミ紀紀ニニ

からきふ 尔久可良難久尔ニクカラナクニ風カゼ越越

かや 慨哉カヤ紀紀三三四四オオ

かむ 畧カムククナナリリイイククニニ出出ルルカカ

から 因已物而オノゾモモノニ記記中中六六十十二二

かや 之シ呂ロ支キ由ユ支キ加カ也ヤ風カゼ

かや 於辞寐羅箇祢オノシメヒラカネ紀紀五五五五オオ

かや 於辞寐羅箇祢オノシメヒラカネ紀紀五五五五オオ

かや 於辞寐羅箇祢オノシメヒラカネ紀紀五五五五オオ

かや 於辞寐羅箇祢オノシメヒラカネ紀紀五五五五オオ

かや 於辞寐羅箇祢オノシメヒラカネ紀紀五五五五オオ

かや 於辞寐羅箇祢オノシメヒラカネ紀紀五五五五オオ

かや 於辞寐羅箇祢オノシメヒラカネ紀紀五五五五オオ

かや 天垢地垢アメノカホチノカホ故々コトコト遊ユ

かや 君邊遊キミノヘノユ

かや 美飲喫哉ウツクニシヨク紀紀十五十五七七オオ

かや 倭例播祢始柯騰ヤマトノヨコシメヒラカネ日ヒ廿二十四四十三十三ウウ

かや 交カウ紀紀廿二十二二ウウ

かや 那賀利勢婆ナガタリセシバ竟上オノヘ

かや 善有カヨク良努ヨシツ行イ尔ニ有ア統トウ十十廿二十四四オオ

かや 舉騰我弥你カキトウガミニ祢ニ你ニ祢ニ祢ニ謂イハ屢シ箇カ皚ヒ比ヒ謎メ紀紀十六十六二二ウウ

新編通雅抄卷之四

結

五

かと 事母在年加正 統十 かせ 曾乃戸比良可世催 東屋

かふ 加遠万左留加尔也 催妹与我 見蟹 新万

かふや 於比毛川久加尔也 催風駕鳥鶯 一本作加祢也

からむ 之良万久保之加良波催 我門

かいてふ 志太留加伊天波催 我門 垂ラカシテハ也

かは 太礼加波 神得錢子 かり 許記中九ウ

○ 幾

き 神夜良比尔夜良比岐記上廿一オ

き 倭柯俱阿利岐騰紀廿六 四ウ

き 高支貴支 統十 廿一オ きは 髪カ友カ際ハ 加美和名 岐波三

○ 久

くじ 角杵神記上一ウ 豊雲野神 日上 装之部可見合

佳言通成少卷之四 結 六

くま 肅慎隈 紀十九 十八ウ

くだり 件 記紀 等

く 表夫泥都羅々玖 記下 宣去久枕スウヲリキヲク曼スウヲ

くもあは 佐賀斯玖母阿良受 記下 八ウ

くもあふ 多布刀久毛阿留可 仏足

くら 見知乃久知 催 道口 越前 和名自余 皆同畧之

くあは比止乃 微波衣賀多久阿礼波女 仏足

○ 計

けく 意富祁久 記中 五ウ 破陪雜區 紀十 五ウ 多比良氣久 統十五 四ウ

けむ 然善 記上 二ウ 許能波佐夜牙流 記中 十ウ

けむや 少 スウケムト 年止 統十七 十七ウ 善 ヨ 氣牟夜 統後十二 十八ウ

けろ 佐斯祁流斯良迹 記上 四十二ウ 宇志波祁流 記上 四十二ウ

けろい 奈利介留波 竟上 須美加多夫祁礼 記下 卅三

けり 不死坐祁理 記上 四十ウ 阿岐良氣幾 竟下

けりも 宇多比都々迦美祁礼加母 記中 五一ウ

けむ 麻迦受祢婆古曾 記下 六オ 按カズケハコソナリ

げむ 日上 ウツクテ遊

けめ 阿利雞梅 紀士 十オ けき 氣色 乎 三代十七 十三ウ

けりや 奈理雞迷夜 紀世 十七オ けく 謀家良久 統廿ノ 十二ウ

けりも 恐家祀 統十七 世五ウ けむより 國固米造 今年 統後九 十オ

けんと 安佐計礼止 催 沢田川 けんと 計加礼侍 留 倭世

けりも 于多比菟々伽弥雞梅伽慕 紀九 十三

けむ 許能美岐表加美祢牟比登波 記中 五十一

けむや 在 余无可止 統後十 十三ウ 伊久良止利介无也 神階 香取

けと 久良波斯夜麻波佐賀斯祢杼 記下 八ウ

け 子之一木 記上 七オ 宇麼能耶都擬 紀十 廿オ

けしよ 安所比介良志毛 神籙

○古

こゝ 踏登杼呂許志 記上 廿オ 此部カシノ件 可見合

如記紀

基登記中語等紀十

頃年三六八比年逸五

伊麻許曾波安知杼理迹阿良米記上

坐難波比賣其基曾社記中阿麻美許曾神社式二

麻許曾迹斗比多麻閉記下宣去マコソニハマコトニヨソト

宇知夜米許世泥記上每面記上每船記上

黄金三百兩紀廿二度の度志古張乃竟下

吐散登許曾記上

志利已所宇神早歌

止祢利古无曾神梁早歌

伊麻許曾波安知杼理迹阿良米記上

坐難波比賣其基曾社記中阿麻美許曾神社式二

麻許曾迹斗比多麻閉記下宣去マコソニハマコトニヨソト

宇知夜米許世泥記上每面記上每船記上

黄金三百兩紀廿二度の度志古張乃竟下

申止慇懃奈何乎怨志所止志

氣左乃阿沙氣奈呼登以非都留逸五ノ四オ呼字不審可考

九重塔注梅頭之部ニ

掌手心和三按此コハ塞ノ意ナリ後世

以逮紀三以來日十三与斯登岐許佐波記下

以來紀十三

はま 狀サ記紀 定其療病之方サ紀一
廿五才

きん 夜都米佐須ヤツタメサス記中世
八雲通ス さまく 那賀那加佐麻久ナガナカサマキ記上
廿二才

きん 阿加陀麻波表佐開比迦礼アカタマハハササカヒカレレ記上
五五ウ

きん 殊者根佐倍丹コトハネサハニ新万 さまく 佐邪岐登良佐泥サガキトラサネ記下
八ウ

きん 飲朋呂伽珥枳許瑳怒オホホロカニキササス紀土 按サハスヲ延タルニテ
令聞ナシ

きん 阿佐受表勢佐アサズオセサ記中 さまく 挿頭ノ部ニ
イダス

きん 伊句臂佐々イクヒササ紀五ウ 于多椰濃芝作々オタヤノシサ日九
廿三ウ

きん 主神カニサネ紀七 物根モノサネ旧ニ 實則神ムササハ紀七
十四才

きん 白マフ佐久サク三代 さまく 尽ツク左社ササ氣利ケリ三代十一
八ウ

きん 畏坐カシコミ左久止サキト統四 所思行オモホシナ久者キウサ統十
廿二才

きん 政奏コトマラサ比ヒ統三十一 さまく 白シラ左附等ササツク式廿一
廿二才

きん 法師二末字左牟ホウシニミウサム催サメ さまく 白シラ佐部与度ササベト後五
最勝

きん 太天利之毛世佐良牟タテアリシモセガラム風 知々波々

きん 思食オホシノサ不留フル三代甲 按不ハ左ノ誤カ又思ノスヲヘタルカ
十三才

きん 宇礼太左ウレタサ神カミ蟋蟀シラヒ太乃志佐タノシサ神篠カミノ梁作キ

きん 止毛志佐乎トモシサ仏足ブツ太不正左也タフツサヤ催サメ安名

唯言通釋卷之四 結 十

さくは飛羅氣佐良万事竟上

さうけり於夜仁佐利藝留竟下

さうけりケカレガク不織計利江談

さうきムト無止女佐理世波竟上

さうろヨト色度綿左備須茂江十

七オ

○ 志

立タシ一記上一オ枳舸斯題紀十四國造之式八世九オ

志 多礼表志記中夜麻登志日中意富岐弥斯日下

志 夜須美斯志記中志為ノシテナリ不及引證

志ウキ宇岐士摩理記上志ツカヘ奉供礼方統廿六

志シム令追記令織日志不ノシナリ不及引證

志ツカヘ奉仕之米天志タ不堪自加止統九ノ

志 布多理泥斯記上和賀淤岐斯日中

志 須賀須賀斯記上登富登富斯日下

志シム久夜斯岐記中許貴太斯統十

志々も 三度乞 記上 五十ウ

志々も 枳虚曳之介迺 紀十 六オ 佐也尔毛美之加 風 甲斐

志 南北日阡 和十 東西日陌 ヨロシチ 日上

志り 後 記紀 等 美知能斯理 記五 五六 眦 和三

志く 泥斯久 記中 五七 宣 自久 統十七 十九ウ

志て 平介久之天 三代四一 三ノウ 名仁毛世須志天 神 総角

志々ふ 顧戀 紀十五 十七オ 今按注ニウキシラフイロシラフナトノシラフセリ

志々 品 紀 等 上件色人 紀十九 廿五オ 志 イシノシ 出伊之部

志 斯々貳暮能 紀十六 三ノオ 宇事物 式八 四ウ

志が 之褒珥柳枳之餓阿麻離 紀十ノ土ウ 十楮按コニ入ル非ナリ

志も 許斯母阿夜尔加志古志 記下 卅オ 加世之毛 催 紀伊 風シモナリ

志く 家自 久統廿九 家シク 毛ヤク我シクナリ 志々く 品々 式八 十ウ

志々る 其職止在 志部 苗 俊九 今按部ハ都ノ誤歟 僧綱

志々く 爲祢互牟志太夜 肥風 松浦

志々て 刀削遊 カクミナカレリ

○ 須

不ノズナリ
不及引證

登賀米受而記上 十八オ

阿礼波須礼記中 四一オ
雖然為記上 十八オ

伊多氏於波受波記中 五十

装之部ニ
イダス

阿比於母波受阿良牟記下 五ウ

伊理多々受阿理記下 廿三 枳舉曳孺阿羅每紀十四 廿一ウ

伊志柯孺阿羅磨志紀十四 廿一ウ

若是尚紀十九 十五オ 美阿止須良仏足トリ 須良 倭世

伊波多々須記下 廿六 比例甫囉須紀十九 廿七オ

伊幣母始羅孺母紀苗 廿六 阿麻哆絆涅受迹紀十三 八オ

麻比須流表美那記下 廿六オ 此心不失ウシナハズ 自天 統十七 廿オ

加比奈介乎須留也神 篠波 加比奈介乎須止天 日上一本

許呂佐務苔須羅句塢紀五 六ノオ

乎波奈能須惠乎逸十六 廿二オ 手子タナスエ 和 三 日廿 梢コスエ 日廿

罪奈倍 賜 比 勘 賜 波須 後廿 八ウ 按後撰ニマツモヒキワカナモツマ
スト同格ナリ

多賀須伎比良須伎物北山 此名式ニモアリスハツニ通フ 大掌 名カツキヒラツキト五ニ月シ

言^{イハ}年^ス須^ス部^ベ無^ム為^セ年^ス須^ス部^ベ不知^ラ尔^ニ統^セ世^一十五^ウ

末^マ天^テ波^ハ須^ス戸^ヘ難^ナ之^シ風^ノ陸^ノ奥^ノ

御身^{ミミ}不^ア敢^ズ有^ル礼^レ統^セ十七^ウ按^ア六^ノア^ノ意^ヲ示^ス

阿^ア波^ハ礼^レ度^ト美^ミ須^ス夜^ヤ竟^ノ下^ノ

○ 世

見^ミ曾^ソ加^カ介^ケ尔^ニ世^セ武^ム催^ニ高^ク砂^シ

泥^ネ牟^ム登^ト斯^シ理^リ勢^セ婆^バ記^レ下^ノ土^ウ

加^カ良^ラ乎^フ支^キ世^セ武^ム也^ヤ神^ノ韓^ノ

所^セ御^ニ佩^{ハカ}記^レ上^ノ宇^ウ那^ナ賀^カ世^セ流^ル日^ノ上^ノ七^ウ

三^ミ度^{タク}世^セ利^リ統^セ廿^ニ九^ウ於^オ比^ビ尔^ニ世^セ流^ル催^ニ真^マ金^キ吹^フ

止^ト乃^ノ川^ツ久^ク利^リ世^セ利^リ也^ヤ催^ニ此^コ殿^{テン}申^マ世^セ利^リ岐^キ三^{サン}代^{ダイ}廿^ニ六^ウ

苦^ク瀬^セ記^レ上^ノ瀬^セ尔^ニ波^ハ陀^タ々^々祢^ネ止^ド東^{トウ}廿^ニ五^ウ刊^{カン}本^{ポン}夕^セラ^ラネ^ネト^トアル^ル誤^ゴ也^ヤ

志^シ毛^モ也^ヤ多^{タク}比^ヒ於^オ介^ケ止^ト加^カ礼^レ世^セ奴^ヌ神^ノ賢^{ケン}木^ノ

宇^ウ川^ツ良^ラ都^ツ良^ラ世^セ牟^ム也^ヤ催^ニ按^アト^トラ^ラサ^サニ^ニヤ^ヤト^ト去^ク所^{ショ}ヲ^ヲ鷹^{トウ}子^シト^トラ^ラセ^セニ^ニヤ^ヤト^トイ^イヘ^ヘリ

奈^ナ乃^ノ利^リ曾^ソ世^セ末^マ之^シ風^ノ彼^ノ乃^ノ行^{コウ}介^ケ豆^ツ岐^キ齊^セ奈^ナ紀^キ九^ク十^{ジュ}ウ

雅言通考卷之四

結

十四

せらく 告言 世良久 三代十三 十七

せび 微与毛多裔勢數 下 竟

せりはる 万止為世利計留 神 柵

せ 阿理加用波勢 記上 世オ 和何多々勢礼波 日

せ 斯多備表和志勢 記下 宣去下 榎ヲ 十五ウ 令走ナリ

せごりせん 多波賀利許度乎勢佐梨勢波 竟上

○ 曾

ぞ 宇良須能登理叙 記上 廿ウ 異餓幣利去牟鋤 紀十三 十一オ

ぞ 同事叙止 勅而 統三 廿五ウ 万志毛加美曾也 神 木綿作

ぞ 伊麻叙久夜斯岐 記中 五六ウ 多愚臂氏序豫枳 紀十一 十一ウ

ぞや 伊川礼曾毛也 神 早歌 ぞむ 初 統紀十 其外不及奉

そは 心荒 比曾波 式八 廿六 真去曾ハ奈カ又ハ勢ノ誤 今按セニ通シテトモイフカ

そら 妙美之虚空彦者歎 紀二 廿四 此ソラ辞ナラネト後世大空中 ナト去意ニ引注センタメナリ

○ 多

たふ 許々呂表陀迹迦記下

た 八田間記上廿八オ
今按田ハツノ通音

たも 伊莽儀而毛紀三
十オ

たる 勝在続十七
十八オ

たち 等記紀一カク
五ウ 從婢記五 侍者紀二
廿四

君王日九
十ウ

たまふ 賜天沼矛而言依賜也記上
二オ 上ノ賜ハ装ナリ
下ノ賜ハ脚結ナリ

たぶ 可多良比能利多布続廿六
廿二オ 万宇之多戸催補
道口

たまふ 聞賜布流三代十三
廿三ウ

た 耳聞遊下畧タニモト
五ヘキナリ

ため 於夜乃多米止 三代廿
七ノオ 天皇我御為日四十八
五ノウ

たふ 國家護我多仁波続十七
タノニノ畧 和多佐牟多米止仁

たむ 伊余理陀多須記下
廿オ 御食持須流式八
七ウ

たせ 阿娑羅你陀々伺紀廿
二オ 倭我陀々西麻日廿
八オ

たび 此遍続廿
廿オ 此多比日廿六
二オ 百廻遊仙

たらめ 和主黎多魯羅米逸四
四オ

たりや 和須礼太利也東
駭 令文所載多流
乎 続三
廿五ウ

たりと 曾女加介太利止也催
浅緑

たり 愛弥詩鳥毗儂利毛 紀三 土オ 箇區泐夜儂利破 日土 土オ

たり 尔保比多理介利 逸五 甲オ たり 上 多良久 三代十三 五ウ

たり 和礼母企々多理 逸世 八ウ たり 普久聞見 多奈利 三代土 分

たむバ 加世之毛不伊太礼婆 催 紀伊

○ 知

ち 久々能智神 記上 六ウ 麻呂賀知 日中 五七 足名搥手名搥 日土 上

ぢ 意富斗能地神 記上 一ウ 日子遲神 日土 上 二ウ 按ハ祖父ノ上畧ニヤ

ち 更名仲子 紀十四 三オ 按此ハタリノ約ニテナカアタリ子ト云フ

ち 氣佐能阿狭氣奈久知布之賀 逸七 十五オ

○ 津

つ 奥津。天津。底津 記 已上等ノ津ナリ 等 此外不及引證

つら 入賞例 紀三 十七オ 不入死類 日十五 二オ 涙睽千行遊仙

奏賜都治賜都統十

与川万左太女川也催何爲

於後手布伎都々記上

如何爲都々加統後十一

伊久用加泥都流記中

凍尔閑雀緒新万

阿婆理逗那偉能古紀十六

干知波志能都梅能阿素弭尔紀廿七

身自記上ナウ此外不及引證

白都良之記上

于多比菟々紀九

比許豆良比記上

治賜比川比統十七

乍起乍居而紀十五

阿婆理逗那偉能古紀十六

干知波志能都梅能阿素弭尔紀廿七

野捷神記上足名捷手名捷記上宣去コノツハ之

五百津之美須麻流之珠記上宣去コノツハ一ツツナリ今按子ノ同音通ヘルカ

附其弟玉依毘賣而記上今按此ハナホ装ナリ依テ五五装ノ部ニモイタシオケリ

多比良波知与止那久波企々都夜逸ハウ

於毛飛都留何毛逸比騰比騰都羅武箇紀廿五

加美乃多加良仁伊万之川留加奈神

○ 天

而テ 記紀等不及引證 和那々岐氏ワナノキナノ 記中 你播你陀々始諦ニハハニニタタハシテ 紀十四

て 玉手タマテ 紀四 猪手イノテ 名 碁手ゴテ 西宮 牽紋ツナテ 和十一

て 筆フデ 和十三 て 痛手イタテ 記中 牟奈天ムナテン 大歌

で 天津日高日子穗々手見命ホノテミミ 記上五十 宣去此アハ十二通フニテモ有ヘシ

で 溝ウチ 紀五 波多傳ハタタテ 記下 擇和スリテ 石手堰神社イシテノ 式十

てば 佐泥斯佐泥氏婆サネシサネテバ 記下 氣吹放キフク 氏波 式十

てはや 津美天波也ツミテンバヤ 風 三ルキ てや 此過コト 依ヨ 天也テンヤ 続後八

てー 宇知氏斯夜麻牟ウチシヤマム 記中 六ウ

で 宇斯呂傳波ウシロハ 記中 宣説尤詳ナリ

ては 韋泥氏麻斯母能ウネシマシモノノ 記下 仕奉シホウ 天麻 続廿二

ては 相見アヒミ 豆未之 物乎モノヲ 続卅七

ても 奈羅倍氏毛餓望ナラバテモガモ 紀十一

てあり 佐夜藝氏有祁理サヤキテアリケリ 記上

てあれも 佛乃御袈娑ブツノミケサ 服フク 在アリ 止モ 続廿五

で 毗礼衣著ヒレキヌキ 飛トビ 尔支度 続後十九十三ウ 按テト清音ニ訓トキハ表裏ノタカヒク

てり 者 テハリ 紀十四廿三ウ 其外諸書

てへば 奈止天戸波 風 伊勢人 按天字一本未又止ニ ツクルハワロシ

てか 矩你々播枳舉曳底那 紀十四 廿七ウ

てか 飲岐底舸慶舸武 紀廿六 五ノウ

ても 須衛波安陀志氏謀 紀十六 二ノオ

てか 奉仕 ツスミツラ 之米天 志可等 続廿六 廿二オ

てちり 一柱依 ト 尔ヨリ 天奈 三代土 利ハウ

で 支乃祢牟保利波牟天 キ ノ ネ ラ カ リ ハ ム デ 神 蟋蟀

てむ 韋泥互牟能知波 井ネテムムノチハ 記下 十六オ

ては 左々介天波於呂之 サ、ゲテ オロシ 神 篠波

て 作手 ツクテ 式十五 最手 儀九 造御櫛手。織席手等 相撲 式二十ホアリ

○ 止

と 吾与汝 ア ト ナ 記上 老夫与老女 日上 蜈蚣与蜂 日上 廿七ウ

ども 等 ドモ 不及 引證 表登賣杼母 記中 比苔破易階迺毛 紀三 十オ

とこそ 醉而吐散登許曾 チラス ト コソ ノ 記上 十八ウ

垂言通考少終之四 結 廿

須ス久ク々々止ト 記中 斯シ志シ麻マ都ツ登ト 日下

知チ杼ト理リ麻マ斯シ登ト々々 記中 那ナ波ハ伊イ布フ登ト母モ 記上

朕レ卿ニ止シ爲シ而テ 統三 人ニ止シ之レ天ヲ 止志 政ニ 已上 統紀

何ニ怨ム 岐志 所ニ 止志 統廿 國ニ老シ 止志 統後

不レ樂ム伊イ末マ 佐倍止 統廿七 千チ位キ置キ戶ド 記上

布フ刀ト御ミ幣ヒ登ト取リ持チ而テ 記上 比ヒ流ル波ハ久ク毛モ登ト章ト 記中

那ナ迦ガ士シ登ト波ハ那ナ波ハ伊イ布フ登ト母モ 記上 國ニ津ツ罪ニ 止八 式ハ

阿ア礼レ波ハ須ス礼レ杼ト 記中 虛コ々々呂ロ破ハ望モ閑ヘ耐ト 紀十一

加カ是セ布フ加カ牟ム登ト曾ゾ 記中 保ホ呂ロ夫フ止シ曾ゾ伊イ布フ 仁恩

共トモ 不及 品ヒ部ブ 紀六 宇ウ加カ比ヒ賀カ登ト母モ 記中

干ク摩マ譬ヒ菩ト奴ナ知チ 紀九 共トモ 不及 引證

初ハジ發シ之ノ時キ 引上 時キ 已上 挿頭之部ニ

時キ 不及 引證 至トキ斯シ去キ々々果ノ有リ大ニ蛇ニ 紀一

阿ア理リ登ト伊イ波ハ波ハ許コ曾ゾ 記一

阿ア岐キ豆ツ志シ麻マ登ト布フ 記下 國ニ家ニ乃ニ大ニ楯ニ 慶安 三代 士

太タ上シ天ニ皇ニ 止伊 布 彌ミ 末名 年 須女 止 以 戸 催 我 門

とや 瑜^ユ屢^ル世^セ登^ト耶^ヤ弥^ミ古^コ 紀十六 加^カ奴^ヌ止^ト也^ヤ支^キ美^ミ加^カ 風

と 干^ウ魔^マ伊^イ祢^ネ矢^シ度^ト你^ニ 紀十七 按^コノ^トハ^トキ^ノ 七ノウ 畧^{ナリ}

ととも 柯^カ微^ミ騰^ト母^モ柯^カ微^ミ騰^ト 紀廿四

何^ニも何^ニも 日^ニ右^ニ

と 意^オ富^ホ斗^ト能^ノ地^チ神^{カミ} 記上ウ

ともも 撫^フ賜^ミ 年止 統一

と 試^シ定^{テイ} 止 蕪^ウ伊^イ波^ハ 婆 統一

とのこ 直^チ遊^ユ 止乃味 不在 統一

と 爲^ニ親^シ 奈利 統一

とろろ 不^フ成^{セイ}合^カ處^ト 記上 布^フ美^ミ志^シ阿^ア止^ト々^々已^コ呂^ロ 仏足

とろふ 躰^カ灰^ヒ共^ニ 去々名 波^ハ烟^{エン}共^ニ 統一

とひり 知^チ子^シ者^者親^ニ 止 去^ク 母 統一

とそ 於^オ岐^キ那^ナ度^ト天^テ和^ワ飛^ヒ夜^ヤ波^ハ遠^{エン}良^ラ無^ム 統一

ともふ 挿^サ頭^{トウ}部^ブ イダス カラノ件ニ

とよ 教^{キョウ}賜^ミ比^ヒ趣^ソ賜^ミ 布止 有^ユ良^ラ志^シ 統一

とろふ 久^ク保^ホ能^ネ奈^ナ表^ヤ波^ハ奈^ナ尔^ニ止^ト加^カ伊^イ布^フ 催補

とろも 天^{テン}皇^ス幼^{ユウ}少^{ショ}久^ク御^ミ坐^ザ 止 伊^イ倍^{ヘイ}止^ト毛^モ 三代八

と 天^{テン}下^カ乃^ノ公^{コウ}民^{ミン}乃^ノ作^{サク}作^{サク}物^{モノ} 式八

とびり 奉^{ホウ}出^{シュツ}給^{キム} 年止 須^ス流^{リウ}間^{カン} 尔 三代十三

和多須登傳那理 竟上

依例 奉出給 无正世之尔 三代廿六 四ノオ

○ 奈

真名井 手末 掌中 真名鹿 日 廿六ウ

久羅下那洲 如枯山 如狹蠅 已上 記上

莫視我 莫使入 日中 四三ウ

未祢那加利曾也 風 鴛鴦

在 吉備那流伊慕鵑 紀十 九オ

阿米那流夜 中 記紀等 不及引證

任隨 淳中倉 淳中原 日共 二オ

神奈我良 続四 十六ウ 挿頭之部ニイダス

和賀美岐那良受 記中 五オ 雖有 記上 世八オ

至于三年 雖已三歲 紀一 八ウ

ちり 椰磨等那殊於朋望能農之能 紀五ノ四ウ按此ナス存ノ意夫矣誤日本成ノ意ニ

ちり 伊芽諾伊芽冊 記一 沫蕩 紀一 頰那藝 記上五ウ已上神名

ちり 句倍枳豫譬奈利 紀十三

ちり 那久那留登理加 記上 令取茲成種 記上

ちり 伊装佐伽麼曳那 紀十 依天奈利介利 三代十一

ちり 阿夜尔那古斐岐許志 記上 捨麻須忘麻須 統十

ちり 將罷 記上 用波伊傳那牟 日上一

ちり 以在々者祢奈无也 東駿

ちり 惠賜 比 撫賜 牟止奈母 統一 二 此辞統紀ニ多シ

ちり 伊弟由介那 紀五 伊装阿波那 日九

ちり 攻戰者 記上 吾加久不申成 奈波 統二 八

ちり 先朝乃御時奈良末之加波 江談

ちり 海人乎 記中 有海人耶 紀十一

ちり 迦豆岐勢那和 記中 宣去此ナハム三日シ 七ムヲセナト去例多シ

ちり 臨其樂日 記中 枕摩儼羅麻 記十六

ちり 鶴奈良奴祢波 竟下 奈利也之名末之 催山城

毎夜ヨナク 紀土 十ウ阿瑳儼阿瑳儼アサアサ 竟下

淤等娜比オトナヒ 紀ニ 十ウ阿豆那比アヅナヒ 日九 七ウ

理可在シナレ 等 十七ウ 異コトニ ナ オモ奈念比ニ 比 統廿七ウ ソヲ畧セル例ナリ

鳴思猪矩謀那斯ナシクモナシ 紀古 廿オ 大法師ナラ 奈良辛 三代四 四オ

氣那賀久那理奴ケナガクナリヌ 記下 十六オ 過那南スキナム 新万下

加久不申成カクフシナリ 奈波 統廿二 八ノオ 不受賜成ウケナシ 成 統廿二 十六ウ

久波也古々奈利也クハヤコハナリヤ 神 星 押頭之部イダス

阿避於謀波儼俱你アヒオモハナクニ 紀十六 二ウ 之加川介那久尔シカ川ケナクニ 神 酒發

日右

舍耳遊

示給シケル物在モノナリ 等 十七ウ 竟賦奈礼度イナレド 竟下

禍息ワタクシ 善成ヨクナリ 統十七 十七ウ 宣去成ハ備之意也

於夜那斯尔那礼奈理オナシニナレナリ 紀廿二 十七ウ 雞迷夜

國家不亂クニナラズ 奈理尔太利 統後十二 廿八ノオ

与須加止奈礼利ヨスカタナレリ 仏 安免毛布良奈無アノモフナム 催補 妹門

名波乃川不良衣乃安支奈礼ナハノ川フラエノアキナレバ 風 月面

阿波麗那礼波夜アハレナレバヤ 竟下

○ 迹

於不及引證多具理尔記上六ウ豫呂豆余耳紀廿二十五ウ

用珥波虚々能用紀七十六オ於頭者大雷居記上九オ

布斗麻迹尔ト相而記上十オ於後手同上十オ

塩許表呂許表呂迹記上二オ玉緒母由良迹同上十三ウ

奴珥比蘆菟弥珥紀十五ウ天能馱和尔式八卅八オ

都紀多知迹祁理記中四二オ阿開你啓梨紀十七八ノオ

志多々尔毛記下十七オ阿佐妬珥毛紀五ウカヲ吾旗尔母統廿十三ウ

神夜良比尔夜良比記上十四ウ佐賀美尔迦美而同上十五ウ

那杼理尔阿良牟遠記上世ウ

知杼理迹阿良米記上世ウ

宇迦々波久斯良尔記中廿ニウ農殊末句志羅珥紀五六オ

雅言通書卷之四

結

廿六

おや 天々仁也波天仁也波天々耳

神 大宮

おやそ 日右

お 賣逐志阿礼波

記上 世ウ

お 阿那逐夜志

記上 三才

お 伊夜表許逐斯氏

記中 五ハウ

お 宇比地逐神

記上 今按コレラニハヌシヲ約メテ 二才 イハルナリ

おや 於費異之瑁夜

紀三 十才

おあり

在其中 記中 一ハウ

あつ風 秋風之吹仁付天毛

江談四

おきと 阿由比能古須受淤知尔岐登

記下 十ハウ

おと 宇迦々波久斯良尔登

記中 廿ニウ

おあり比登迹阿利勢麼

記中 四十二才

おあり 辞立不在

続四 三才

おあり

孰尔加毛

続三 十四ウ

おあり 登許余尔母加母

記下 廿六ウ

おあり 和岐豆紀賀斯多能伊多尔母賀

記下 世一才

おあり 伊逐祁流加母

記下 廿五ウ

おあり 宝在

羅之止

続四 六才

おあり 朕波良何良仁在物乎夜

続廿二 八ノウ

おあり 猶在倍伎物尔有礼夜止

続十 廿六才

小くし 聞キ惡ニク事キコト之ノ言コト坐マ婦メ人ヲ乎カ 紀九 七ノオ

小 齡ヲ弱ヨク尔ニ荷キ重キ波ハ不堪タヘ 自自加加止止 續九 十六ウ

小ありき 詐ニ在リ家カ利リ止ト知リ天テ 續廿五 十七ウ

小ありき 伊イ賀タ尔ニ布フ久ク賀カ是ゼ尔ニ阿ア礼レ婆バ安カ 後後純純十七 十八ウ

小ありき 為タ親シ 奈奈利利 八八ノオ 續廿二 小ありき 多タ例レ柯カ威イ尔ニ雞ケ武ム 紀廿五 廿六ウ

小 安ア之シ太タ尔ニ止ト利リ与ヨ字ウ 催催刺刺櫛櫛

小 青青玉玉能能水水江江玉玉乃乃行キ相ア尔ニ式式八 四十オ

小ありき 天天火火尔ニ未未礼礼人人火火尔ニ未未礼礼 三代廿八 十一ウ

小ありき 都都知知仁仁波波阿阿利利登登毛毛 後後紀紀十三 廿五ウ

小ありき 麻麻礼礼尔ニ母モ阿ア留ル可カ毛モ 仏仏足足

小ありき 年年毛毛弥イ高高成成 尔ニ豆豆 續續廿六 三十オ

小ありき 一一時時燒キ尽尽 尔ニ太太 三代廿六 十一オ 小ありき 多タ加ガ与ヨ二ニ加カ 神神 賢賢木木

小ありき 不フ利リ尔ニ之シ和ワ礼レ乎カ 催催 小ありき 鎮チ仁ニ 出出風風秋秋鹿鹿 此此ハハ風風三三通通ノノ毛毛

小ありき 安ア也ヤ万マ利リ仁ニ之シ与ヨ利リ 神神 階階香香取取

小ありき 海ア之ノ流ナ勢ガ留ル舟フネ丹ニ佐サ里リ介ケ留ル 新新万万下下

○ 奴

如此白訖記上和例破椰隈怒紀三年月積統十

伊天々和礼泥奴也催補河

磨陀左积涅渠農紀廿五

罷麻之奴 續世一
罪尔伏奴良志 統世ノ

比登斯理奴倍志記下 阿介奴止毛陸奥

知利曾之奴陪岐逸六 譬等資利奴陪踪統十三

加計呂止奈岐奴奈利神酒殿

古母知麻知也世奴良牟催補

伊万母奈可奴加逸五 矢内出風大原此又チ記紀

波夜母阿氣奴賀母也常風

○ 祢

訶志古泥神記上高日子根神月上 按味不ハナセノ

孫 宇知夜米許世泥 記上 世オ 汝安特岐等羅佐泥 記上 世オ

孫 伊麻陀登加泥波 記上 世オ 梅珥志弥曳泥磨 記上 世オ

○ 乃

の 多久豆奴能 記上 世一 志多陀美能 日中 此ハ甚多 七オ 余不及證

の 天地初發之時 記上 一オ 天之御中主神 日上

の 宇磨能耶都擬 紀十四トシノムトセテ 世ノオ 年乃六年乎 統十 世五ウ

の や 阿符美能野 紀十七 十セウ 須加牟良乃也 風 菅牟良

の 木花之阿麻比能微 記上 四九ウ 多儂比等用能未 紀十三 八オ

の 一人 ヒトウ 世ヤ 乃未 慶ハ之岐 統十七 十九ウ 贊持之子 記中 四オ

の 燒鎌乃敏鎌以 ヤキカト 乃トキカ 氏 式八 世オ 言依奉乃隨 コトヨサシ 乃ヲ 隨 統十七 世七オ

の 太比川留安乃乃 タヒ川 留安 乃ノ 神殘 体僅 美毛止乃加太知 美毛 止ノ 加太 知 統十七 世七オ 浅水

の 乎之乃加毛止利 ヲシノ 乃カモ 止リ 催 何為 布由紀能須 フユキ 能ノ 須 記中 五セウ 冬木如也

の や 阿奈美久留志乃風也 阿奈 美久 留志 乃カモ 風ヤ 江談 一

の 氣菟能和區具能 ケツツ 能ノ 和區 具能 紀廿三 七ノウ 按今俗ニガト去 ベキ所也

結

三十

進言通

のここと 獨能美許曾坐 世 統後六 十七ノオ

の 和賀由久美知能迦具波斯波奈多知波那波

右記中五六オ 按句ヲヘタテ、受タル例ナリ

の 七人 乃味之天 統廿五 宣去土人ノサマシテト 廿五オ 去ラアマレル欵

の 朕時 乃未尔波 不有 統十 廿五ウ

は 者 不及 引證 阿波母与 記上 世二ウ 許能源积破 統五 四ウ

は や 阿那陀麻波夜 記上 四一オ 和礼波夜惠奴 百中 七オ

は 倭我伊麻西磨 統十四 八ノオ 由布佐礼婆 記中 一オ

は り 毫毛 統十三 八ウ 比呂波加利也 催 總角 三日波駕利 竟下

は く 宇迦々波久 記中 廿二ウ 賜波久止 統四 六オ

は 波那美波志比斯那須 記中 宣說齒並喙也下去ル誤今按 廿九ウ 万二間ハミミ路ハシ遠クナク辭

は 乃樂能波女摩你 統十六 三ノオ 滑谷崗 統廿四 十四ウ

は 多例椰始儺播務 統十一 十オ 美也知加与波牟 催補 貫河

牙言事考卷之四

ば 美陀礼婆美陀礼記下十六才 与世波与世越方

ば 拒却介賜波須在三代十六才 廿八ウ

ば 間人皇女紀廿一才 床席頭端月廿七才

ば 土齒池肥風 高来 毎年記中 四八ウ

ば 和賀都麻波由米記下 十才 装之部二イタス

ば 治賜波奈止統十五四宣才 止乃者良東殿 殿原也

ば 美都々志乃波牟食 覆之面葉北山御元服 面前也

ば 和例烏斗波輪難 紀土 才 擗頭之部二イタス

はも 斗比斯岐美波母記中 世九ウ 伊徒姑播茂紀九 十ウ

は 佐可止乃波介佐波奈波岐曾神 酒殿

はむ 黄疽和 三

○ 比

ひ 御産巢日神。禍津日神。直毘神。已上記上 按振々ノタヒヤ

ひ 弟日僕紀十五 七ノウ 重日月十七 廿四才

佳言通考卷之四 結 三十三

新言通考抄卷之四

ひま 墻閣之際三カキノヒマ 恒伺間隙紀七、九ウ 日十一六オ

び 畝傍山ウサトビ 紀三 辺ニ通フカ十ウ 可考 ひ 大毘々命オホヒヒノミ 記中五オ宣云耳内シ

ひ 上放和カツヒ ひ 荒備流アラヒ 統四十十五オ

ひ 詔賜ヒ 比志尔ヒシ 統九ノ十七オ び 鹿備アラヒ 式八廿七ウ

ひふ 日右

① 布

ふ 耶賦能之魔枳ヤフノシバカキ 紀六イダス ぶ 淤曾夫良比オソノブラヒ 記上廿オ

ふり 装之部ニイダス ぶ 道速振チハヤ 荒振アラヒ 已上式八

ふり 大角一節ハラノエヒトフ 伎八鼓吹

○ 閑

へ 重ハ重九重ナド 夜幣ヤハ 賀岐ガキ 記上廿三ウ

べ 御枕方ミマク 御足方ミアド 山辺ヤマエ 床辺トコベ 宮辺ミヤエ 已上記此類 諸眷ニ多シ

新言通考抄卷之四

結

三十四

倍 宜。應。當 諸君多不
及引證

倍 兵船必來 倍久逸十二
十三ウ 猶在 倍仗 統十
廿六ウ

未遠聞食 倍喜乎
三代四十四
十七ウ

那 你 波 安 陸 武 岐 底 紀十九
母登幣波 記中
廿七才

夜 麻 登 幣 迹 記下
三才 多 陀 用 幣 流 記上
一才

令 作 竟 賜 倍利 三
代 十才 念 倍 流 仁 統十七
十六才

御 酒 當 給 江二
五三ウ 不 宜 記中土ウ
此外多不及證

大 羽 振 邊 紀七
廿一ウ 有 倍 加 利 三代四
六 二ウ

大 苦 邊 尊 亦 曰 大 戶 摩 姬 尊 紀一
按コレヲ以テ三六
此ハ

那 羅 陪 務 菩 虛 層 紀十一
十一才

引 結 幣 魯 葛 目 式八
廿才 念 良 未 久 統廿五
廿六ウ

顯 自 示 給 社婆 統七
十七ウ 負 賜 閉 統十七ノ廿八
ハバノ畧ナリ

伊 波 能 杯 尔 紀廿四ノ
石上三才 福 波 倍 統四ノ
五ウ

客 人 倍 統後上
ハハ等ト去類ニテ良ト去
ヨリハ以テ敬重ノ詞ナリ

那 々 都 義 乃 与 尔 都 加 倍 留 統後十五ノ三
按ハルヲ以テ
去也夕ヨルカハルハト不
同

見 也 戶 末 井 良 牟 風 荒 田

べらる 於毛布倍良奈留 竟下

○ 保

ほ 波穂 記上 久尔能富 日中 五四才

ほ 謀之間 記中十才 以外十才アリ 家辺 記中 山傍 紀七 廿才

ほ 美賀本斯久迹波 記下 五才 赤丹穂 爾 聞食 式八 五ウ

ほ 保枳茂苔階之 紀九才 五才 文申上事骨 江九ノ二 日十才五ウ

○ 麻

ま 坐 記紀等 不及引證

ま 伊麻勢波女夜 記中 天降 柳坐 志々 統後十九 十一ウ

ま 仕奉 麻佐部流 統世 何陪理伎未勢止 逸士 六才

ま 座坐 波 統廿一 阿末与支末勢流 風 七ウ

ま 伊都閑黒益史 式八 直去ニシハ辞ナリ只 廿八才 クロクスルヲ去ナリ

まで 至 記上 八舉垂摩氏 記上 四十四

まふ 今至 統一

まふ 隨 記紀等 不及引證

まふ 布斗麻迹 記上 三ウ

まふ 心乃麻介麻 統三十 八ウ

まふ 已々呂乃麻真丹 速十五 四十オ

まふ 任隨 記紀等

まく 那賀那加佐麻久 記上 世ウ 農殊未句志良珥 紀五 六オ

まほ 和加名乎之良万久保之加良波 催 我門

ま 伊能致志儺磨志 紀十四 廿一ウ

ま 多知波氣麻斯表 記中 四二

ま 阿斯布麻須那 記下 十ウ リモノヨリリモノ 件ニイタス

ま 讒言 記上 世ウ 拈砥見芝間丹 新万上

まり 謹麻柳 統廿ノセウ カシヨリハ装部ウ アメリ畧上リ百年マリ ナトノリ也

まもの 韋尼氏麻斯母能 記中 廿五ウ

まもの 安波万之毛乃乎 催 高砂

まもの 持由麻波利 式八 六オ 清麻波利 月八 廿四オ

ま 間 記紀等 不及引證 真進國 紀三 按真ハ假字ニテ同ノ意ヤ 十七ウ 間遠同近キナト也

ま 加々良麻志加波 江談 五 知 未世波 統世七 廿七ウ

豫慶麻志樹箇破能區莽區莽

紀十一
十三ウ

倭須羅慶麻音珥

紀廿六
五ウ

敢時為

赤之
止
五
續廿二
廿一ウ

宜相見日尔至万豆波

繞後土
十ウ

○美

み

忍穗耳命

記上
十六ウ

八耳神

日上
廿ウ

布帝耳神

日上
廿四ウ

此外神名耳去多

み

八島士奴美神

記上
廿ウ

穗乃手兒命

同上
五十ウ

宣云三ノ畧ナリ

み

波陀阿可良氣美

記中
五五ウ

夜麻陀加美

記下
十五ウ

み

宇流波志美意母布

記中
五七ウ

み

久良波斯夜麻表佐賀志美登

記下
八ウ

み

天地乃宇倍奈由流之天

統廿六
十一ウ

按曰ニ通フミ也ウベノミト云ニウシ

みや

女止去波婆等美夜我加久去

統十
廿五ウ

み

勞美威美

統四
二ウ

み

幸魂音魂

紀一
廿八ウ

み

遠遲那美許曾

記下
世身

み

命尊

紀
等
不及引證

み

藥方

記下
十五ウ

み

麥奴

和名
三ハリノ約十ウ

雜言通載少終之四

結

三十七

牙言通事抄卷之四

○ 武

む 宇知氏斯夜麻牟 記中 六ウ 阿米多知夜米牟 日下 十六ウ

むと 多陀尔阿波牟登 記中 九ウ 都毘迩斯良牟登 日下 十ウ

むよ 拖例柯々該武豫 紀志 廿ウ 天地之其其遠 續四 二ウ

むそ 伊賀幣理計牟叙 古下 十七ウ

○ 米

め 伊奈志許米 記上 十ウ 阿佐米余玖 日中 三ウ 葛目 式八 廿ウ

め 冰目矢 記上 廿六ウ 宣去水ハ羽ノ誤カ 志許米岐 記上 十一ウ

めや 和礼和須礼米也 記下 三ウ 阿知女 神アギノ 別ニ考アリ

める 既有好意遊 ニアメチ 長女柏 ナカメ カシハ 式四十 二ウ

め 与留波佐祢女 神 大宮 梁サネテニ作ル

めは 所知看。聞看。所知食 已上記紀等

雜言通事抄卷之四

結

三十八

め 弥都波能賣神 記上 六ウ 伊豆能賣神 記上 十一ウ

碓女。哭女 以上 按皆群ノ約ニテ 四十才 何部ト去ニヨシ

めども 八重组垣 咎々梅 騰謀 紀十 六十二才

め 阿曇目 紀十二 見林去後世罵久 五才 日目盖起于此

○ 毛

も 是亦。此鳥亦 已上記 猶多 佐斗毘登母 記下 十六ウ 此外畧ス

もく 以不及 用此 紀一 七ウ も 久毛 葺多知久毛 記中 四三才

もら 加微能美氏母知 記中 廿七ウ も 阿波母与 記上 廿二ウ

もの 母知 互許 麻志母能 記下 十一ウ ものぞ 治將 賜物 曾止 統一 二ウ 賜倍岐物 奈利 三代十七 十三ウ

ものぞ 志奈々支毛乃遠 神行 倍岐物 奈利止 三代世八 十ノ才

も 宇礼多久母 記上 廿才 もの 溺我保指母能渡 紀十五 八ウ

も 阿比娜 護難俱母於母保 喻屢柯母

もあか 多怒斯久母阿流 迦 記下 三ウ

も六 和賀毛古迹許牟 紀中 李才

も七 御所 詔止 摩下 紀七 常在 オキテ 左右 紀六 一ウ

も八 迦久母賀登阿賀美斯古迹 記中 五五ウ

も九 日右 訶句志茂餓茂 紀二 十五ウ

も一〇 夜者若燦火而喧響音之 紀二 十八才

も一一 八維 紀十四 八方 日十七 四表 日十九 四一ウ 此毛六面ノ上畧ナリ

も一二 顯 自示 給夫物在 白等 統十七 十七ウ

も一三 因巳物 紀十一 脚ニアラ シタニ 歛咲遊

も一四 朕波良何良尔在物 乎夜 統廿二 八ウ

も一五 可反賜物 奈利世波 統廿二 廿一才

も一六 伊波女 礼奴 物尔阿礼夜 統十七 十九ウ

も一七 禁給幣流物 仁在 統廿七 十八才

も一八 供奉 礼留 所 母安利 三代世八 九ノウ

も一九 御命 母安利 三代世八 十ノ才

も二〇 多知毛可奈 神龜 もと 爲禍害之藪 紀七 十ウ

も二一 之留久毛可奈也 東駿

ものきび 獨知倍伎 物不有 續十 廿品ウ

も 惠曇郷 出風 秋鹿 惠村毛社 日上此公ヲモト去例ナリ

もを 人毛已曾美礼 神酒殿 もが 祢布母加母 記下 廿ウ

もや 奴氏由良久母夜 記下 廿五

○ 也

や 乎哉 記記等 不及引證 於志氏流夜 記下 三才 和餓末菟夜 記三 六才

や 亦有可自子哉 記上 四才 不聞者夜 續世一 十四ウ

や 那須夜伊多斗遠 記上 廿才 や 和礼也比斗川麻 催 東屋

やる 和加夜流牟泥遠 記上 廿才 や 与利已夜比波利 相 静屋

やの 伊乃古夜乃伊毛能美許等 記上 廿三才

や。む 那賀美古夜都毘迩斯良牟登 記下 十才

や 等虚諄陪迩枳弥母阿閉椰毛 紀十三 八ウ

やも 日右 按此ハ願ヤナリ 皆エ緯ノ受例也 やー 波斯祢夜斯 記中 四三才

やん 朕一人夜波 員大瑞 乎 受賜牟 結 十七

や 加比也カヒヤヒロ比呂波牟ヒロハム太万也タマン比呂波牟ヒロハム 催イサヒ

や 可絶其家門カクセシケ夜止ヨトシ為シテ奈母ナモ 統世トウセ

やはらぬ美古仁波也良奴ミコニハヤラヌ 竟上キウジョウ 按此ハヤハハ轉倒ニタリハノ引ニテアラヲ畧ケルナリ

○ 由

由 自ユ不及フタヘ和藝幣能伽多由ワゲヒノカタク 紀三キサン 自手候漏出血此自ヨリミテノテアヲ畧ケルナリ

虚能コノ茶由毛マユモ 紀三キサン

比登波加由登母ヒトハカユトモ 記下キゲ

常トコ在往ユク 記上キジョウ 長往チヤウ 紀五キゴ

和賀都麻波由米ワガツマハユメ 記下キゲ

故由コユ 不及フタヘ近具漏岐由惠チカクニクキユエ 記中キチュウ

故思コシ磨古喻衛尔マコヨエニ 紀十四キジュウ

高御座尔坐タカミクラニイマス 由利ユリ 統十トウジュウ 此コノヨリハヨリナリ万マン

○ 与

よりて 因ヨラフ 依イ 記紀サテ 不及引證

よて 日右

よ 斯毘都久阿麻余シビククアアマヨ 記下 世三

よ 許能麻用母コノマヨモ 水同 八ヨリ畧

よや 太々良古文比与也タタラコキヒコヤ 神 得銭子 与考改作年 太々考作安太

よや 与也奈ヨヤナ 風小車

より 自國常立神ヨリ 記上 二オ

より 從沙本方ヨリサホカタ 記中 二七オ

よら 阿須用理アスヨリ 記下 世五オ

より 三度ミヨリ 紀世 二 五オ 兩度フタヨリ 日世 二 二オ

より 常トヨ 利別リト 仁ニ 在故ニル 方カタ 統トウ 廿六ニシユ

より 常奉見トヨホム 余利皮ヨリヒ 統トウ 廿七ニシユ 叔父美濃公トコノノミノノキミ 与利毛 三代 四六 二ノウ

よらそ 時与利曾トキヨリソウ 竟下

より 阿表迹余志アヲニヨシ 記下 五オ 波辞枳豫辞ハシキヤシ 紀七 八オ 按ヨトヤ 相通也

○ 良

らま 區珥能摩保邏摩クニニホマホヲマ 紀七 八オ 太命タノミ 良麻 統一 止 一ウ

らー 不平坐良志ヤクサミマスラシ 記中 二オ 獲女君等サレメノノラ 記上 四八ウ 此外不及引證

らー 淡岐米久良斯母オキメクラシメ 記中 世オ 与之已左留良之也ヨシコサルラニ 催

難言通義抄卷之四 結 四十三

らせ 登与美岐多氏麻都良世記上赤由川良世走并

らゝ 白都良久記上宇摩羅珥紀十

らゝと 許呂佐務苔須羅句紀五授赤都良久止統廿七

らゝり 称辞竟奉久波辞豆曳羅波紀十

らゝり 美多迹布多和多良須記下

らゝり 和賀氏登良須母記下

らめ 都麻母多勢良米記上伊积羅牟苔紀十一

らお 宇迦々波久斯良尔記上波陀阿可良氣美記中

らぬ 訶區多智豫羅泥紀十三伊由岐麻毛良比記中

らゝか 豈無國欵紀一按オカラムヤト訓タレトモ

らゝき 兔伽破須羅志枳紀十五らゝや 豈無國欵紀十三

らへり 仕奉賈流按賈霸誤 憚良礼來礼留三代七十四ウ

らゝく 天下百姓能念良麻久母耻止統廿二十二ウ

らむ 阿止乃祁留良牟復赤川良牟比斗乎催楠我駒

らむ ツカヘマツラム紀廿二

○ 利

りつ 阿婆理逗那偉能古 紀十六 按リツルヲ延テ去ヘルガ

○ 流

る 諸神天神 俗去謂賀味苗 常風 弥賀味苗岐 香取

皇親神留弥命。皇親神留弥命 古拾一

○ 礼

しり 吾与汝所造之國 記上 九オ 伊麻毛乃亡礼利 仁良

しり 阿表加岐夜麻基母礼流 記中 四ニウ

し 美陀礼波美陀礼 記下 十六オ 余理涅氏登富礼 記下 十七ウ

しハ 院餓能朋例磨 紀上 十五オ 鎮奉 礼止 式八 廿七オ

しり 伊贺尔布久贺是尔阿礼波可 逸十六 廿二オ

しり 奉供 礼方之曾 統廿六 廿五オ 那例々騰母 紀廿五 十五ウ

しり 其仕奉 礼良年 統一 二ノウ

し 御身不敬賜有 礼 統十七 此アレハアレバ意ナリ本良ニ 廿七ウ 作ル誤ナリト宣イ介

進礼良久 式十二

○ 呂

ろ 淤能基呂島記上 妹盧豫嗣尔紀二

ろ 安佐古久乎不祢佐志与勢呂風之太乃浦

ろ 波比毋登富呂布記中 表陀氏呂迦母記下

ろ 久尔能森本呂婆記中 淤呂須波多記下

ろ 異枳迺保呂之茂紀九

○ 和

わ 迦豆岐勢那和記中 直去ワハ

わ 埴輪紀六 河曲和 わろり己未乃和太利催

わ き 竈傍紀十五 腋手記六

○ 爲

○ 惠

愛俱流之衛阿礼播俱流之衛紀廿七
十八才

○ 遠

於須比遠母記上
世才草之垣葉平七
式八
世三才

許遠波記上
世ウ倭我堤鳴麼紀十七
七ウ

愛表登古表記上三才
三才阿勢表記中
三才
吾恩ヨク意ナリ

和餓兔摩烏由梅紀十三
八ノウ

牟加閉表由加牟記下
十才牟緒長統十
廿四才

多礼表志摩加牟記中
ハウ天下乃事手夜
統十
廿四ウ

阿良蘓波受泥斯久表斯叙母記中
四十二才

吾子爲而皇太子止
五
統廿二
七ノ十

許登表許曾須宜波良登伊波米記下
七ウ

久良波斯夜麻表佐賀志美登記下
八ウ

天琵琶手打那
流多那津毛能乎曾統後士
十六ウ
亮上

是王當于其時而遊其殿下記下
十九ウ

をり予ヲリ時節トシノフシ遊仙

をのろ其身ヲノロ流シ乎カ三大統後士布士三

をり方ヲリカタ笛フエ遠トウ吹フク了マツル神次第

をり方ヲリカタ才試サウシ了マツルス双神次第

雅言通載抄下卷終

文久元酉年

九月朔

江戸

須原屋茂兵衛
山城屋佐兵衛

大阪

敦賀屋九兵衛
秋田屋太右衛門
河内屋喜兵衛

京都

蛭子屋市右衛門
若山屋茂助
菱屋友七
大文字屋典三兵衛
吉野屋仁兵衛
勝野村伊兵衛
吉野屋甚助
林屋芳兵衛
錢屋惣四郎

